

付属資料

- 1 平成15年度高校生国際協力実体験プログラム参加者名簿
- 2 研修員及び無償留学生名簿
- 3 アイスブレイキング企画書
- 4 ケーススタディ配布資料
- 5 研修員との交流食事会タイム・スケジュール
- 6 研修員との交流食事会ワールドビンゴルール
- 7 「世界の食事を体験しよう（ブラジル）」パワーポイント資料
- 8 プログラム参加者（生徒及び教師）のレポート
- 9 アンケート用紙
- 10 アンケート集計結果
- 11 掲載記事

1 平成15年度高校生国際協力実体験プログラム参加者名簿

時：8月25日～27日

於：JICA中部国際センター

氏名	氏名かな	学校名	学年	性別	部屋番号	ケーススタディ	交流食事会	話そう	まとめ会
山口 初一	やまぐち はついち	愛知県立愛知工業	教師	男	501	5	17	1	9
幸治 忠寛	こうじ ただひろ	愛知県立愛知工業	2年	男	502	1	1	2	1
畑中 亮介	はたなか りょうすけ	愛知県立愛知工業	2年	男	503	2	2	3	1
伊藤 綾	いとう あや	愛知県立愛知工業	2年	女	318	3	3	1	1
伊藤 奈津子	いとう なつこ	愛知県立愛知工業	2年	女	319	4	4	2	1
山本 智彦	やまもと としひこ	愛知県立東海商業	教師	男	507	5	18	3	9
杉浦 弘祐	すぎうら こうすけ	愛知県立東海商業	3年	男	508	4	5	1	2
鈴木 弘明	すずき ひろあき	愛知県立東海商業	3年	男	509	3	6	2	2
田口 千尋	たぐち ちひろ	愛知県立東海商業	3年	女	320	2	7	3	2
南川 真裕子	みなみかわ まゆこ	愛知県立東海商業	3年	女	321	1	8	1	2
武井 隆義	たけい たかよし	私立大成	教師	男	512	5	19	2	9
森 大祐	もり だいすけ	私立大成	2年	男	513	1	9	3	3
西村 飛俊	にしむら たかとし	私立大成	2年	男	514	2	10	1	3
岩井 映梨加	いわい えりか	私立大成	1年	女	322	3	11	2	3
掛布 知里	かけの ちさと	私立大成	1年	女	323	4	12	3	3
菊池 徳隆	きくち のりたか	岐阜県立斐太農林	教師	男	504	5	20	1	9
八反 明美	はったん あけみ	岐阜県立斐太農林	2年	女	301	4	13	2	4
平林 麻理子	ひらばやし まりこ	岐阜県立斐太農林	2年	女	315	3	14	3	4
野村 瞳	のむら ひとみ	岐阜県立斐太農林	2年	女	316	2	15	1	4
平田 敦美	ひらた あつみ	岐阜県立斐太農林	2年	女	317	1	16	2	4
浦井 裕子	うらい ひろこ	三重県立津	教師	女	413	5	17	3	9
大谷 美沙	おおたに みさ	三重県立津	1年	女	412	1	1	1	5
相須 麻由	あいす まゆ	三重県立津	1年	女	411	2	5	2	5
今西 由佳	いまにし ゆか	三重県立津	1年	女	410	3	9	3	5
尾市 沙弥香	おいち さやか	三重県立津	1年	女	409	4	13	1	5
小柳 明良	こやなぎ あきよし	静岡県立長泉	教師	男	515	5	18	2	9
加藤 弘亮	かとう ひろあき	静岡県立長泉	3年	男	516	4	2	3	6
望月 潤	もちづき じゅん	静岡県立長泉	3年	男	517	3	6	1	6
川口 あずさ	かわぐち あずさ	静岡県立長泉	3年	女	324	2	10	2	6
石川 可奈絵	いしかわ かなえ	静岡県立長泉	3年	女	325	1	14	3	6
田辺 すが子	たなべ すがこ	石川県立金沢辰巳丘	教師	女	414	5	19	1	9
橋 篤史	はし あつし	石川県立金沢辰巳丘	1年	男	518	1	3	2	7
三木 亮	みき りょう	石川県立金沢辰巳丘	1年	男	519	2	7	3	7
西田 沙織	にした さおり	石川県立金沢辰巳丘	1年	女	402	3	11	1	7
西村 悠加	にしむら ゆか	石川県立金沢辰巳丘	1年	女	403	4	15	2	7
林 要昭	はやし ようしょう	私立富山国際大学附属	教師	男	421	5	20	3	9
木嶋 環	きじま たまき	私立富山国際大学附属	2年	女	404	4	4	1	8
岡嶋 あゆみ	おかじま あゆみ	私立富山国際大学附属	2年	女	406	3	8	2	8
村上 渚	むらかみ なぎさ	私立富山国際大学附属	2年	女	407	2	12	3	8
大巻 余吏子	おおまき よりこ	私立富山国際大学附属	3年	女	408	1	16	1	8

【参加校連絡先一覧】

愛知県立愛知工業高等学校	〒 462-0052	名古屋市区北區福徳町広瀬島350-4	TEL 052-911-4421
愛知県立東海商業高等学校	〒 477-0031	愛知県東海市大田町曾根1	TEL 0562-32-5158
私立大成高等学校	〒 491-0814	愛知県一宮市千秋町小山大福田1878-2	TEL 0586-81-1118
岐阜県立斐太農林高等学校	〒 506-0058	岐阜県高山市山田町711	TEL 0577-33-1060
三重県立津高等学校	〒 514-0042	津市新町3-1-1	TEL 059-228-0256
静岡県立長泉高等学校	〒 411-0934	駿東郡長泉町下長窪1002	TEL 055-986-2000
石川県立金沢辰巳丘高等学校	〒 920-1397	金沢市末町2 1 8 番地	TEL 076-229-2552
富山国際大学付属高等学校	〒 930-0175	富山市願海寺水口444	TEL 076-434-0577

2 研修員及び無償留学生名簿

交流食事に出席予定のJICA CBIC滞在研修員名簿

	氏名	国名	コース名
1	アレハンドラ・イメルダ	メキシコ	産業工学・品質管理
2	エリック	メキシコ	産業工学・品質管理
3	アルマンド	メキシコ	産業工学・品質管理
4	マリア	メキシコ	産業工学・品質管理
5	ウンベルト	メキシコ	産業工学・品質管理
6	ハビエル	メキシコ	産業工学・品質管理
7	アマリア	メキシコ	産業工学・品質管理
8	アレハンドラ・マルガリータ	メキシコ	産業工学・品質管理
9	ロドリゴ	メキシコ	産業工学・品質管理
10	ラファエル	メキシコ	産業工学・品質管理
11	イバン	メキシコ	産業工学・品質管理
12	ペドロ	メキシコ	産業工学・品質管理
13	タレク	エジプト	溶接技術者研修
14	フランシスコ	グアテマラ	溶接技術者研修
15	アリ	エジプト	溶接技術者研修
16	シェー	中国	溶接技術者研修
17	フレッド	ザンビア	溶接技術者研修
18	プリヨノ	インドネシア	溶接技術者研修
19	ブリトー	スリランカ	溶接技術者研修
20	ルビロ	タンザニア	溶接技術者研修
21	コム	タイ	溶接技術者研修
22	サンドラ	アルゼンチン	GISによる天然資源・農業生産物の管理
23	ウィルキン	ドミニカ共和国	GISによる天然資源・農業生産物の管理
24	ステラ	ケニア	GISによる天然資源・農業生産物の管理
25	ソニア	ブラジル	GISによる天然資源・農業生産物の管理
26	オスマン	グアテマラ	GISによる天然資源・農業生産物の管理
27	ビクター	パラグアイ	GISによる天然資源・農業生産物の管理
28	ミナコ	メキシコ	海洋生物学
29	チャナ	インドネシア	ラボ管理
30	ジョナス	ナイジェリア	送配電工事管理
31	ズン	ベトナム	留学生
32	フエ	ベトナム	留学生
33	ハイ	ベトナム	留学生
34	トウク	ラオス	留学生
35	ヴィエン	ラオス	留学生
36	ホン	カンボジア	留学生
37	ソッパール	カンボジア	留学生
38	エンフトブシン	モンゴル	留学生
39	バトエルデネ	モンゴル	留学生
40	ウクタム	ウズベキスタン	留学生
41	ゾイール	ウズベキスタン	留学生

3. どんな人と知り合いになったのか、マイクをまわして8人に聞く。(10分間)
単なる名前と出身の紹介だけでなく、その人がどんな人なのかを聞き出す。

4. 部屋の4隅 (10分)

- 1) 今日、6時台に家を出た人。7時台、8時台、9時台。
- 2) 1年生、2年生、3年生、先生。
- 3) 血液型がA型、B型、AB型、O型。
- 4) 春が好きな人。夏、秋、冬。
- 5) 今日のグループ

5. グループに分かれて、金魚のふん (隣の隣) (15分間)

① はじめの人が「私は、〇〇です。」と言ったら隣の人が、
「私は、〇〇さんの隣の◇◇です。」と続け、また隣の人は、
「私は、〇〇さんの隣の◇◇さんの隣の△△です。」と次々に増やしていく。
まず名前だけ。

次に形容詞もつけて。「私は、〇〇〇な〇〇です。」

②パス&コール (時間があまったら)

サークル状になりボールをパスして回す。パスする際に必ずそのパスする相手の呼び名を呼ぶ。

自己紹介シート

名前 ()

	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
お名前は？					
どこから？					
何をしに？					
どんな人？					
もうひとつ！					



平成 15 年度 高校生国際協力実体験プログラム

ケーススタディ

あなたなら、どうする？～ある青年海外協力隊員の事例から～

青年海外協力隊を目指して

高野康子（たかのやすこ）さんは、小さい頃から手先が器用で洋服を作ったり編物をしたりするのが得意でした。高校を卒業した後、デザイン系の専門学校に進学し、卒業後、アパレルメーカーに就職をしました。大きな会社だったため、自分でデザインするというよりは、有名なデザイナーさんに仕事を依頼したり、いろいろな関係者の調整をしたり、事務処理に忙しい毎日でした。ある日、残業で帰りが遅くなり、終電車で揺られてうとうとしていたあるとき、吊り革広告で「I（アイ）をください」というメッセージが目飛び込んできました。「うーん、『Iをください』??」



青年海外協力隊



をください。

「ふーん、青年海外協力隊かー。名前は聞いたことがあるけど、『じゃいか』？ ああ、国際協力事業団のことね。私の技術も生かせるかなー？」

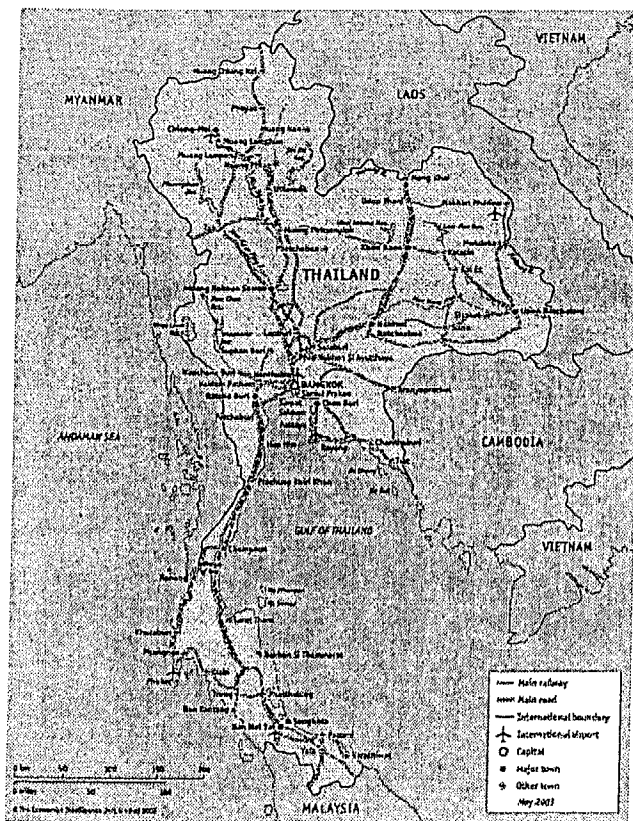
家に帰り、早速、インターネットで「ジャイカ」のホームページをみると、野菜、保健士、日本語教師、バレーボールやコンピュータ技術など、たくさんの職種があることが分かりました。高野さんは、高校生の頃、世界には貧しい生活をしている人が多くいることを聞いて、驚き、悲しくなったことがあります。自分でも何かできればと思ったことがあります。

「なるほどー。手工芸の分野なら、私でもできるかも！！」高野さんは、翌日、青年海外協力隊に応募したいことを上司に相談しました。上司は、ベトナムの縫製工場に勤務していたこともあり、国際協力に理解があったため、親身に相談に乗ってくれました。その結果、高野さんは、5年間勤めていた会社を休職できることになり、無事に選考試験を合格し、タイ王国へ手工芸隊員として派遣されることになりました。

タイ王国に到着

青年海外協力隊員には派遣前に語学や現地事情を勉強するための約3ヶ月の訓練があります。高野さんは福島県での訓練を終えて、タイに派遣されました。ちょうど4月のタイでは一番暑い時期です。初めて足を踏み入れた首都バンコクではあまりの暑さにびっくりしましたが、しばらくして、任地である涼しいチェンマイ県チェンマイ市に無事到着しました。チェンマイ市はタイの首都バンコクから北へ約700kmのところにあります。チェンマイは北部タイの最大の都市です（人口はチェンマイ市約24万人、チェンマイ県130万人）。

タイ王国 地図



山岳民族とは？

北部タイの山岳部には少数民族が住んでおり、低地に住んでいる人たちとは違う文化・風習を持っています。

標高 500 メートル～1500 メートルの山岳地帯に、アカ族、ラフ族、リス族、モン族、ヤオ族、カレン族など十数部族、約 75 万人の少数民族が生活しています。大きく分けて 6 民族あり、それぞれ違う言語を話しています。ここ 1～2 世紀の間に中国雲南省やチベット方面から南下してきました。

中国にいたときの彼らは平地で灌漑農耕をしていましたが新たな土地を求め始めると同時に漢民族の圧力、ラオスやミャンマーの政情不安などからどんどん南下してきたと言われています。どの民族も独自の言語と高度な手芸技術による民族衣装をもち、数年～十数年ごとの集落移動を繰り返しながら、伝統的な文化を保持してきました。

タイの山岳民族はもともとは国境を越えて活動する狩猟採集民族や移動農耕民族でしたが、現在では多くが定住した生活を送っています。昔は焼畑（やきはた：森林を伐採し火入れをし、数年間耕作する耕法）を行い移動を繰り返して農業をしていました。

タイ山岳民族概要	
カレン族	人口 35 万人。ビルマ・チベット系（ミャンマーに 300 万人以上在住）自称パゴニョー。象の調教を行う。民族独立闘争継続中。
モン族	人口 11 万人。シナ・チベット系（四川、雲南、貴州省に 730 万人在住）。白モン族と青モン族の 2 つのグループがある。
ラフ族	8 万人。ビルマ・チベット系。「虎を狩る」の意。狩猟採集民族。
アカ族	5 万人。ビルマ・チベット系。高床式住居、ぶらんこ祭り、父子連名法が有名。
ヤオ族	4 万人。シナ・チベット系。漢文化の影響が強い。刺繍が有名。
リス族	3 万人。チベット・ビルマ系。漢文化の影響が強い。地床式住居。
ティン族	5 万人。モン・クメール系。焼畑農耕を行う。
パドウン族	ごく少数。シナ・チベット系。首長族として知られる。

山岳民族はどういう生活をしているの？（その1）

高野さんの配属先は労働社会福祉省山岳民族福祉課のチェンマイ県センターというところですよ。民族の伝統的な織物や刺繍を活かした商品開発、製作指導、販路拡大をし、副収入を得られるようにするのが高野さんの要請内容(求められている仕事)でした。実際に着任してたくさんある村を回ってみると、いろいろなことがわかってきました。

山岳民族は山の中腹から山頂にかけて村を作り住んでいます。主収入は農産物売って得ていますが、急な斜面に果樹栽培や野菜栽培をしても収穫量が多くありません。町の市場に売りに行きたくても、交通の便が悪く車を持っている村人も限られています。

「へー、山岳民族って生活が大変だなー。これからの2年間どうやって協力していこうかな？ そうだ、とりあえず、村に行ってみて一緒に生活してみよう！」

高野さんはたくさんある村のなかのひとつ、ヤオ族の「パロー村」に1週間泊ることにしました。早速、村に行ってみると、村人は持ち寄ったおかずであたたかく歓待してくれ、その夜、高野さんは村長さんの家に薄い毛布を借りて泊めてもらうことになりました。

「コケコッコー」朝、にわたりの大きな声で目覚めてしまいました。見回すと子どもたちはもう起きているようです。

「あれー、まだ4時なのに!? そうか、電気がないので、みんな早寝早起きなんだな。そうだ！ まずは、家族のみんなの生活を観察してみよう！」



高野さんの調査記録

パロー村のこどものある1日

睡眠	家畜の 世話・朝 食	畑で手伝い	兄弟の世話	夕 食	睡眠
0	4	6	15	19 20	24時

パロー村のお母さんのある1日

睡眠	朝食準 備と朝 食	畑仕事	刺繡	夕食の準備 と夕食と家 事	睡眠
0	4	6	15	18	21 24時

パロー村のお父さんのある1日

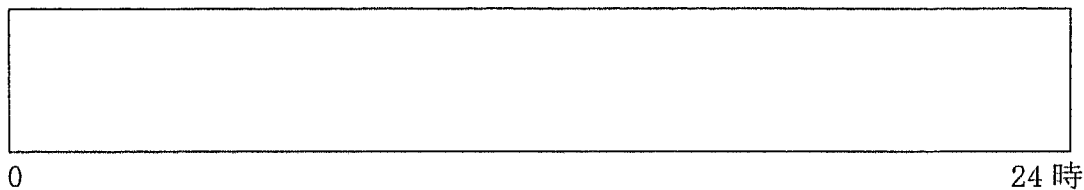
睡眠	朝 食	村の中をぶらぶら	夕 食	睡眠
0	5 6		19 20	24時

【考えてみよう！】

高野さんは、山岳民族の家族の生活が日本の家族の生活とだいぶ違うことに驚きました。あなたも、あなた自身の生活と比べてみませんか？

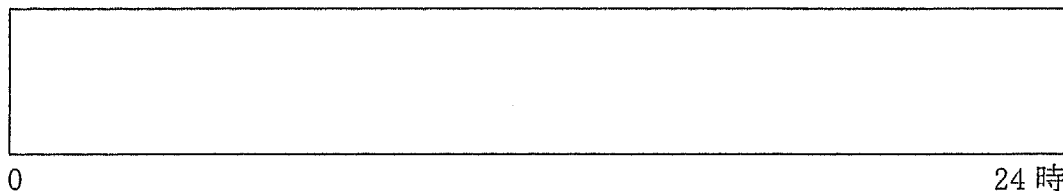
- ① あなたの平均的な1日をグラフにしてみてください。

あなたのある1日



- ② あなたの家族の平均的な1日をグラフにしてみてください。

あなたの（ ）のある1日



- ③ 村の生活とあなたの生活を比べて気が付いたことをグループで話し合ってください。

山岳民族のこどもは学校に行っているの？（その2）

村のなかをよく見渡してみると、すべてのこどもが家のお手伝いをしているわけではなさそうです。中にはお手伝いをしないでどこかに行っている子もいるようでした。

「こどもはどこ？」タイ語を話す村人に聞いてみると、どうやら隣村の保育所へ行っているみたいです。翌日は面白そうなので、こどもたちといっしょに行ってみることにしました。

でこぼこの赤土の道は陽射しが強く暑いため、ほこりにまみれた肌に汗が吹き出します。雨の日はぬかるんで歩きにくいとのこと。30分ほどでようやく保育所に着きました。保育所といっても3歳くらいの小さなこどもから12歳くらいまでのこどもがいます。その日はタイ文字の勉強をしていました。

先生と話をしてみました。「村から一番近い学校は車で3時間下の町にしかないの、こどもたちはここで読み書きを習っているのです。しかし、この保育所には県からの給食費の予算は少ししかもらえません。みんな少ししか食べられなくてひもじさを我慢しながら勉強しています。教科書は私の分しかありません。それに、教師は私1人だけです。年齢幅のあるこどもたちを一度にみるのはとてもたいへんですよ。」

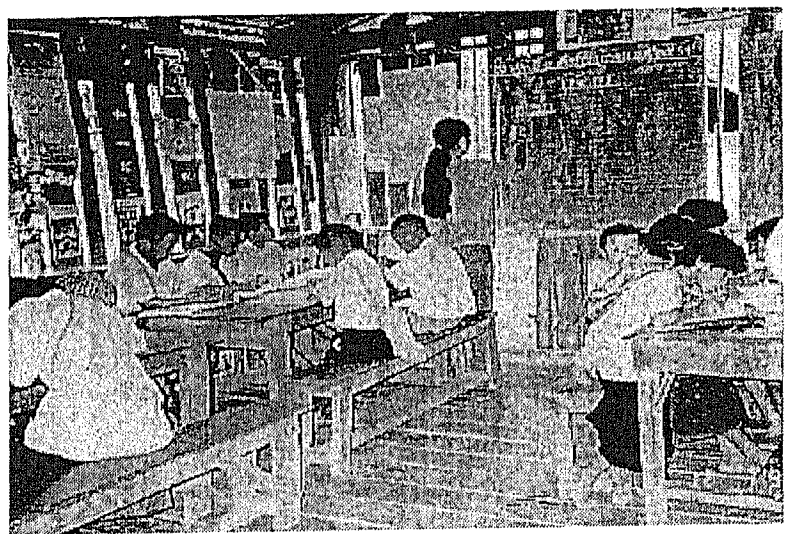
また、この保育所の近くに住む村人にも様子を聞いてみました。「あの先生は町まで下りると1ヶ月くらい来なくなるんですよ。その間、学校はお休みです。でも、また戻ってきてくれるだけましですよ。今まで他に何人もの先生が来てくれたけど、みんなそのうち来なくなってしまうんですよ。そりゃ、町の仕事の方が収入がいいし、生活も便利で楽だからね。」

高野さんは、それを聞いて考えました。「うーん、学校で勉強しないとこどもは大きくなっても、タイ語を話せなくなって計算もできなくなるんだらうな。そうすると将来お金はあまり稼げないだらうな。どうすればいいんだらう？保育所でもいいけど学校は近くに必要だらうし、ずっといてくれる先生も必要だ。通う道が楽だったらいいのかな？それと、一部のこどもだけではなくて、村中のこどもみんなが学校に来られる方がいい。給食がないのはたいへんだらうな。こどもたちのお母さんも行く必要がないと思っているのかもしれないな。それと、教科書はどうしてないんだらう？そもそもタイの役所は保育所に対する予算が十分あるのかな？」

【考えてみよう！】

子供たちにとって学校がないのは問題ですが、村の大人たちもお金もあまりないので、どうしてよいのか分からないようです。もし、あなたがパロー村の村長さんだったなら、どのように対処しますか？

① この村の教育の問題点を挙げてみましょう。



伝統的な焼畑農業は悪いこと？（その3）

次の日はお母さんやお手伝いをするこどもたちと一緒に畑へ行ってみることにしました。急な斜面のキャベツ畑で収穫をしていたのでいっしょに手伝いながら村人たちと話をしました。

「ふーっ、よくこんな急な斜面で畑を耕しているなー。あんまり収穫も多くなさそうだし。」

パロー村の先祖たちは焼畑農業をしていたそうです。森林を焼いて2～3年で土地がやせてくると新たな場所に移ります。20～30年後森林が回復するとまたそこを利用するというように畑と村を移動してきたそうです。

しかし、今はタイ政府が定住政策をとっていることや森林保護のために焼畑を禁止しているので、村を移動することもなく急な斜面を耕して畑にしているそうです。土地はやせてくるから化学肥料を使わなくてはならなくなってきているとのこと。少ない収入から安い肥料を買ってきているそうです。

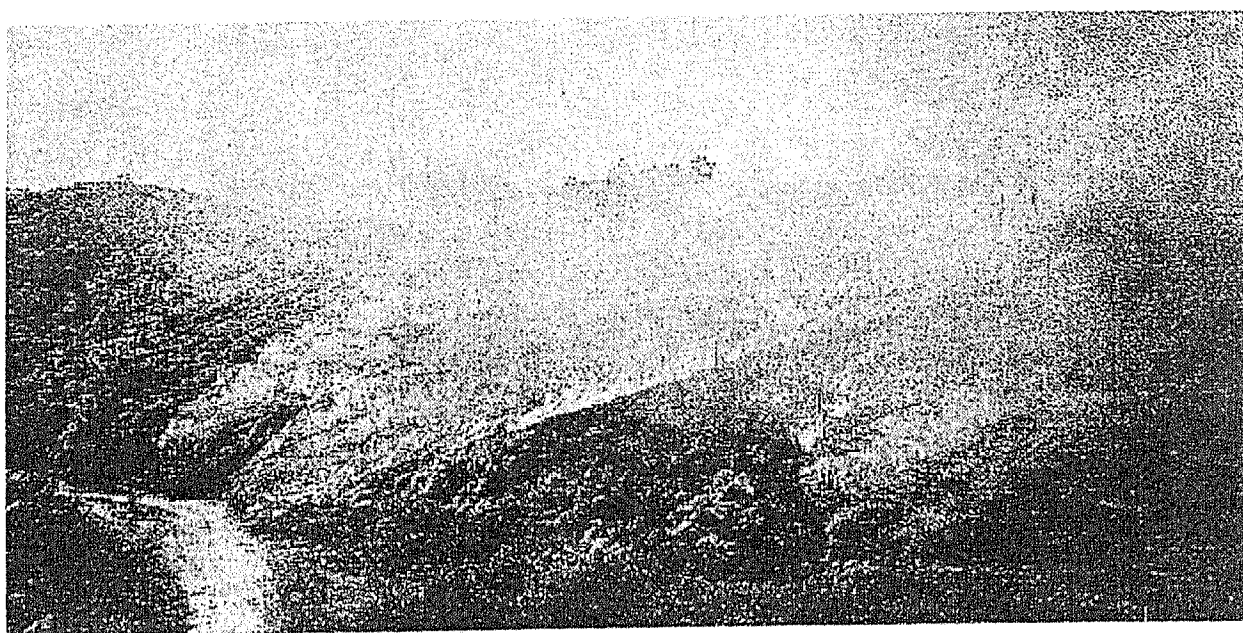
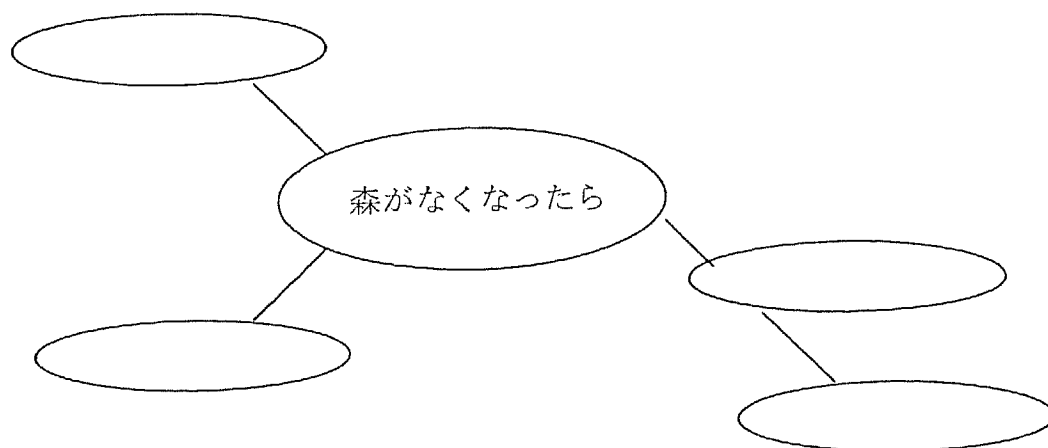
「どうして焼畑が禁止になったんだろう？それに森林がなくなっているのは本当に焼畑農業のせいだけなのかな？昔から代々やっていて、別に問題がなかったんでしょ？」

高野さんは、昔、日本が大量の木材をタイから輸入していたために森林がなくなっていると言われていることを思い出しました。「これって、もしかして先進国のせいなの？木材を伐採し、輸出している業者のせい？それとも、安いからといってそれをふんだんに使っている我々のせい？」

高野さんの心のなかで、耕しにくいところで一生懸命畑仕事をしている村人たちの顔と、何でも使い捨てるの生活をしている日本人の顔がオーバーラップしました。

【考えてみよう！】

- ① もしも世界中から森がなくなったらどうなるのでしょうか。想像してみて考えられることをすべて挙げてみましょう。



どうして出稼ぎしなければいけないの？（その4）

パロー村にはずっと家にこもりきりのお母さんがいました。家族に話を聞いてみるとどうやら HIV に感染しているようです。彼女は10年ほど前に家族のために収入を求めて山を下りて町まで行き出稼ぎをしていたそうです。はじめは工事現場などで働いていたそうですが、早くお金を稼ぐために売春をしていたこともあるそうです。3年前に村へ戻ってきて家族とともに暮らしていましたが最近体の調子が悪くて隣村の保健所に行ってみたら感染がわかったそうです。もう今はエイズを発症していて家から出てこなくなってしまったようです。

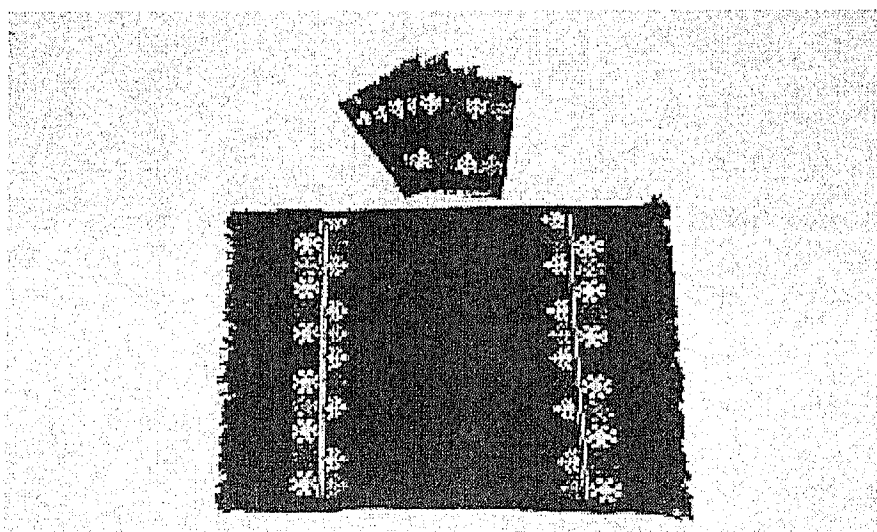
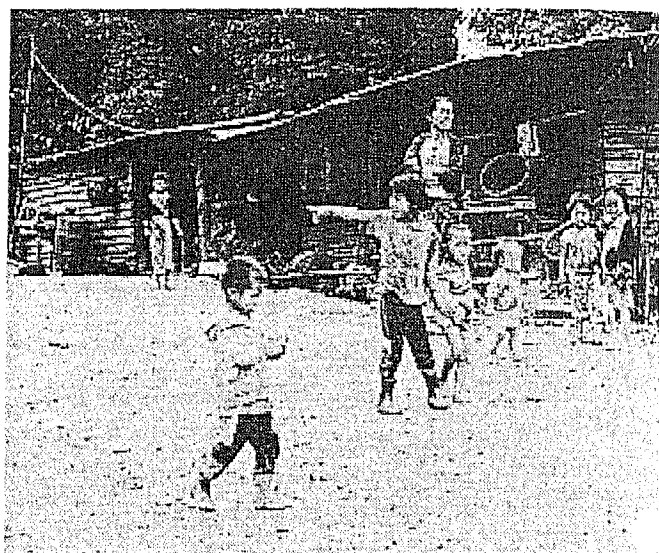
「えー、そんなことになるなら、出稼ぎなんてしなければいいのに。でも、お金がないから仕方がないのかなあ。」

出稼ぎに出ている村人は今でも何人かいるそうです。女性だけでなく男性もいますが、ヤオ族のヤオ語しかできない人は町へ下りてもタイ語の読み書きができないため、できる仕事に限られています。工事現場などでの仕事につく人もいますが、売春をしたりする人も多くなってしまうそうです。とても家族思いのためにこどもが自ら出稼ぎに行くことを望むことをあるそうです。送られてくるお金できれいな家を建てている家族もいますが、残されている兄弟やこどもたちはなんだかさみしそうに見えました。

高野さんはチェンマイ市内に戻り、同じタイ北部で活動をしている JICA の医療分野の専門家と話をしました。JICA はタイ北部のパヤオ県などでエイズ予防対策のプロジェクトを支援しています。タイ国内では HIV 感染率はすでに1%を超えているといわれており、特にタイ北部に感染者が多いそうです。「8割以上が異性間性的接触により感染しており、母子感染も増えてきています。タイ政府もとても重要な課題として対策に力を入れています。コンドームの使用と、地域での感染者に対するサポート体制を強化していくことが重要です。ここ数年、タイ政府が力を入れて対策をしてきたために感染率の上昇は押さえられてきているようですよ。」とその専門家は述べていました。

高野さんは、「弱い立場の人たちが HIV に感染しやすいなんてひどいなあ！そして、罪のない赤ちゃんまで感染したり、親が亡くなって孤児になってしまうこともあるのか。逆に先にこどもに先立たれてしまう親もいるんだよな。平和なパロー村でこうした悲劇は起きて欲しくないな」と考えこんでしまいました。

【考えてみよう！】



貧しさを乗り越える（その5）

高野さんは自分にできることは何だろうかと考えました。それは、ヤオ族の女性が作り出すすばらしい刺繍を生かして手工芸品を商品化し少しでも現金収入を増やしてあげて出稼ぎを減らしてあげることだろう、と考えました。そうすれば、家族を大切にしている彼らは家族といっしょに住むことができ笑顔が増えるだろうと思いました。配属先のタイ人職員とも相談してパロー村を中心に活動をしていくことにしました。

高野さんはパロー村で婦人を集め、グループを作り、手工芸品の製作指導をしました。はじめは簡単な刺繍入りコースターをつくってみることにしました。刺繍がじょうずでも大きさを同じに作ることができませんでした。売るためには同じ大きさできれいに作らなければいけないことを何度も説明して村人とともにがんばりました。だんだんと質が向上し、ポーチやバッグも作れるようになりました。販売先はチェンマイ市内の土産物を置く店に何件も直接交渉に行きました。売上金は村のグループ全体のものではなく、作った人の売上になるので、売上の一部を集めてみんなで材料の布や糸を買えるしくみにしました。そうして、だんだんと婦人グループの活動は活発になってきました。

そのうち、その村の商品をまとめて買ってくれるチェンマイ市内のお店を見つけました。村人はそのお店まで製品を持っていき買ってもらうようになりました。わずかながら毎月定期的に少しずつの収入が得られるようになりました。一番刺繍がじょうずでよく売れる人はお金を貯めて息子をチェンマイ市内の学校に行かせてあげられるようになりました。

こうして一生懸命に毎日を過ごしていて、ふと気づくと、高野さんの2年間の任期は終わりに近づいていました。「ああ、もう終わりなんだ。まだまだやり残したことはあるけど、あとは後任の協力隊員に託して帰ろう。そして、しばらくしたら、絶対またこの村に帰ってこよう！そのとき、みんなの笑顔がもっと増えているといいな！」見なれた山々の風景を遠くみつめながら、日焼けした額の汗をぬぐいました。

【考えてみよう！】

- ①高野さんの帰国後村の婦人グループや村人たちはどうなったのでしょうか？高野さんが来る前と後を比較して絵に描いてみてください。